| 2015年<br>月 日 | 最高気温<br>(℃) | 最高気温<br>平年値 (℃) | 最低気温<br>(℃) | 最低気温<br>平年値 (℃) | 最深積雪<br>(cm) | 最深積雪<br>平年値 (cm) | 平均風速<br>(m/s) | 最大風速<br>(m/s) |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 4/15 | 9.9 | 9.1 | 0 | -2.4 | 1 | 36 | 3.3 | 7 |
| 4/16 | 3 | 9.4 | -0.1 | -2.2 | 1 | 33 | 3.3 | 5.9 |
| 4/17 | 9.4 | 9.7 | 0.2 | -2 | 0 | 30 | 2.5 | 4.8 |
| 4/18 | 11.1 | 10 | -0.6 | -1.9 | 0 | 27 | 2.4 | 6 |
| 4/19 | 6.3 | 10.3 | 1.1 | -1.7 | 0 | 24 | 2.6 | 6.2 |
| 4/20 | 8.4 | 10.6 | -1.6 | -1.5 | 0 | 21 | 1.5 | 4.3 |
| 4/21 | 6.5 | 10.9 | 1.5 | -1.3 | 0 | 18 | 3.2 | 7.1 |
| 4/22 | 12.5 | 11.2 | 0.5 | -1.1 | 0 | 15 | 4.3 | 9.1 |
| 4/23 | 18.7 | 11.5 | -2.6 | -1 | 0 | 13 | 2.4 | 7.5 |
| 4/24 | 17.8 | 11.8 | -1.1 | -0.8 | 0 | 11 | 3.8 | 11.8 |

表1　発見日から過去10日間の下川の気象データ抜粋

千石正一．1996．アオダイショウ．P. 97．千石正一，疋田努，松井正文，仲谷一宏（編）．日本動物大百科5 両生類・爬虫類・軟骨魚類．平凡社．東京．

# エゾサンショウウオの越冬状況の記録

堀　繁久

エゾサンショウウオ（*Hynobius retardatus*）の越冬状況についての記録は少ないようで，筆者が確認できた文献記録としては，佐藤・松井（2013）の北海道のサンショウウオたちの中で「越冬する場所はさまざまで，繁殖する池のすぐそばであったり，あるいは山麓であれば陽当たりの良い南斜面であったりする」という記述と，池の縁での越冬場所の写真が唯一であった．

筆者は，2015年12月6日に新冠町の沢の斜面で地下浅層に生息するメクラチビゴミムシを探索中に，地下から越冬中のエゾサンショウウオを複数個体確認したので，発見場所の地形と越冬状況を記録する（写真1-3）．

現場は，幅1mほどの小さな沢が流れる谷筋で，エゾサンショウウオが確認できたのは，沢から15mほど斜面を上がった場所である．斜面の下の谷底には早春にエゾサンショウウオが産卵に利用しそうな水たまりがあった．その谷斜面の中程を掘ってみると，腐葉土層の下に粘土混じりの小砂利の層があり，その下に表面に粘土の付着したやや脆い岩盤層が存在し，その岩盤の隙間から最初のエゾサンショウウオが見つかった．その後，昆虫探索中に同じような環境から次々とみつかり，合計7個体の様々サイズのエゾサンショウウオが地下から見つかった．越冬が確認された場所は，ほぼ

写真1　調査地風景（左側の斜面中腹が確認箇所）

写真2　地下から掘り出された越冬中のエゾサンショウウオ中型個体

写真3　地下から掘り出された越冬中のエゾサンショウウオ小型個体

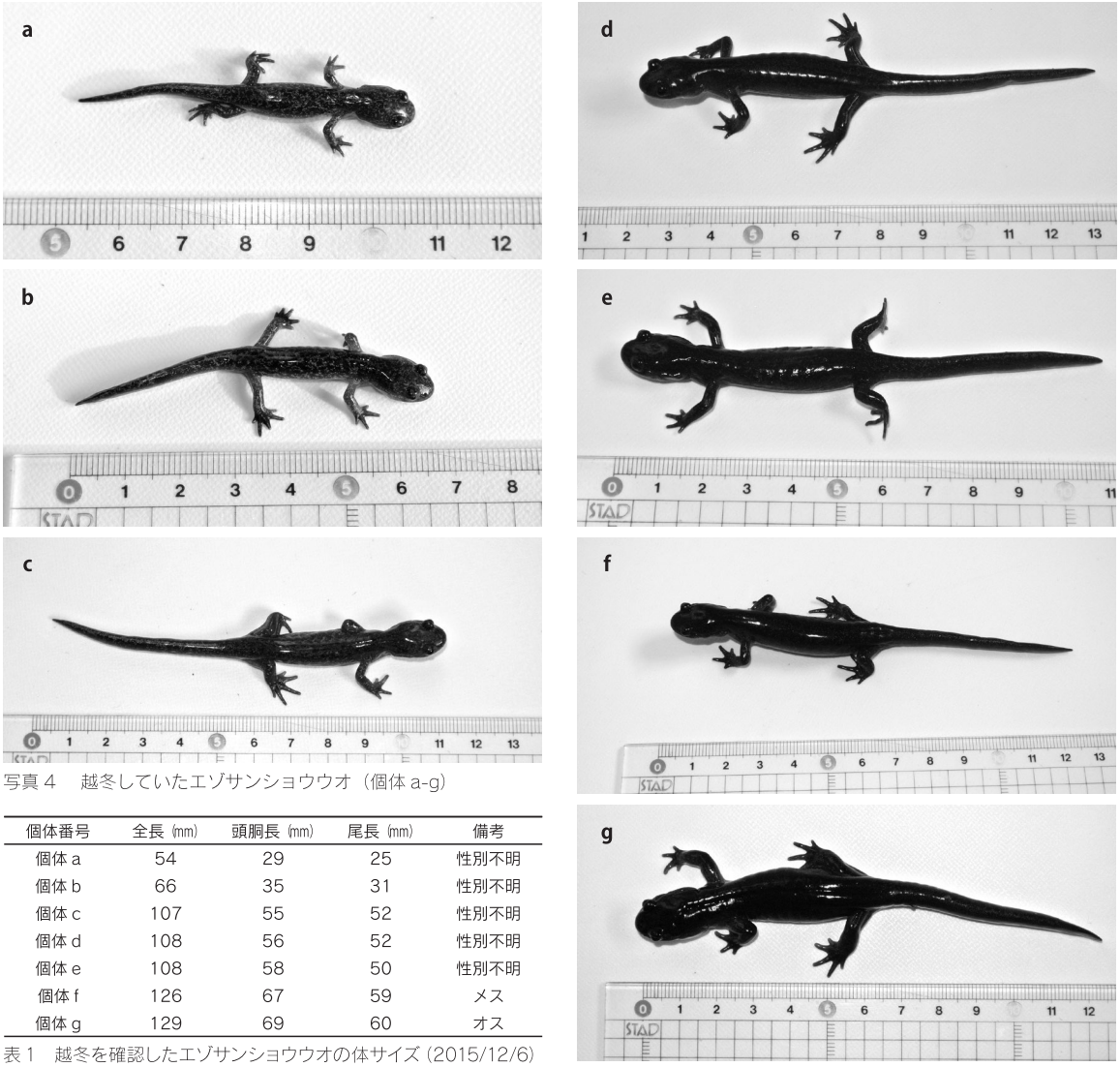


写真４　越冬していたエゾサンショウウオ（個体 a-g）

| 個体番号 | 全長 (mm) | 頭胴長 (mm) | 尾長 (mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| 個体 a | 54 | 29 | 25 | 性別不明 |
| 個体 b | 66 | 35 | 31 | 性別不明 |
| 個体 c | 107 | 55 | 52 | 性別不明 |
| 個体 d | 108 | 56 | 52 | 性別不明 |
| 個体 e | 108 | 58 | 50 | 性別不明 |
| 個体 f | 126 | 67 | 59 | メス |
| 個体 g | 129 | 69 | 60 | オス |

表１　越冬を確認したエゾサンショウウオの体サイズ（2015/12/6）

真北を向いた北斜面である．位置は，地表から 30 ～ 40cm ほど地下の岩盤の隙間で，水流は無くかなり湿度の高い環境であった．複数の様々なサイズの個体が見つかったことから，このような環境が様々な齢のエゾサンショウウオが利用する越冬場所の一つと考えられる．見つかった個体の多くは性別不明であるが，翌春繁殖に参加すると考えられる全長 120mm を越える２個体については，頭部や体型等に雌雄の特徴が現れていたので区別した．見つかった全エゾサンショウウオのサイズと写真を掲載する（表1，写真4）．

## おわりに

エゾサンショウウオの越冬については、まだまだ不明な点が多い。今回の確認によって、南斜面だけでなく、北斜面で越冬が行われることもあることが判明した。しかも、土中のかなり深い場所にまで、潜っていることも明らかになった。今後も野外の観察データを蓄積して、エゾサンショウウオの生態解明を進めていきたいと考えている。

## 謝　辞

最後になりましたが，寒い中にもかかわらず現地調査にご協力いただいた澄川大輔氏と菊地那樹氏にお礼申し上げる．

## 引用文献

佐藤孝則･松井正文（編著）．2013．北海道のサンショウウオたち：262pp　エコネットワーク